

A photograph of two young girls in school uniforms. The girl in the foreground is smiling and looking towards the camera, holding a book and some supplies. The girl in the background is looking slightly to the side. The image is overlaid with a white text box containing the title and subtitle.

危機状況下にある 思春期の女の子たち

南スーダンからの声

サマリー・レポート



この5年間で、南スーダンにおける紛争は400万人の家を奪い、700万人を人道支援が必要な状態に追いやった（注1）。巻き込まれたすべての人が人生を引き裂かれ、とりわけ、思春期の女の子が犠牲になっている。彼女たちの身の安全、健康、未来への展望はすべて、思春期の男の子や成人女性が直面するリスクとは異なる脅威にさらされている。また、ただ彼女たちが若いというだけの理由で、彼女たちの権利やニーズが無視されることがあまりに多すぎるのだ。

プラン・インターナショナルが委託した本報告書は（注2）、南スーダンとウガンダの複数地点の女の子やその家族、コミュニティを対象に実施された調査を基にしている。2つの年齢層（10～14歳と15～19歳）の思春期の女の子が、自分たちに起きている危機の影響をどのように受けとめ、そして直面する困難にどう立ちむかっているかを精査するものである。また、本報告書は彼女たちの声と、危機に対する見識を増幅させ、国際社会がとるべき対応についての彼女たちの意見を記している。



私は南スーダンで
平和を築きます。
私は優秀な専門家
になり、国家を
発展させます。

イエイに暮らす
15～19歳の女の子

女の子たちが教えてくれたことは？

女の子たちはおびえている

彼女たちは路上にいる武装した男性のことだけでなく、家庭内で起こるジェンダーに基づく暴力も恐れている。そこには早すぎる結婚や強制的な結婚も含まれ、それが彼女たちの健康、教育、安心できる生活全般をリスクにさらしている。

「コミュニティでは、兵士たちが女の子をレイプすると脅したり、無理やり妻にしたりしています」
ニムレに暮らす 15～19歳の女の子

彼女たちは飢えている

77%が、食べるものが十分ないと訴えている。これは彼女たちの健康に影響を及ぼし、勉強への集中を妨げている。

「ときにはお腹を空かせたまま寝なければならないこともあります。食べるものが十分でないための、私はちょっとした仕事をして食べ物を買うお金を稼いでいます」
イエイに暮らす 15～19歳の女の子

彼女たちにはやるが多すぎる

女の子はきょうだいの面倒をみたり、家事全般をこなすほか、ささいな方法を使ってでも収入を得ようとしている。これは学校に行く時間を犠牲にして行われる活動であり、彼女たちの今後の人生に大きな影響を与えている。

「復習する時間が十分でないことが一番心配です。家でやるが多すぎて、これでは試験でいい成績がとれないかもしれません」
バラトゥカに暮らす 17歳の女の子

1. Humanitarian Affairs (UNOCHA). 2018. "Humanitarian Needs Overview: South Sudan." Pp. 2-4. https://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/South_Sudan_2018_Humanitarian_Needs_Overview.pdf

2. Girls in Protracted Crises in South Sudan online ref

医療がほとんど、あるいはまったくない

医療関係のインフラの大部分が破壊されてしまっており、薬や治療の価格は法外である。女の子が性と生殖に関する健康についての情報やサービスにアクセスできる機会はほとんどなく、彼女たちの未来に甚大な影響を及ぼす。大きなニーズがあるにもかかわらず、心のケアについての専門家による支援はほとんど、あるいはまったく存在しない。

*「戦争によって、多くの女の子が心の健康に問題を抱えています。多くがレイプの被害者で、常にうつや精神的問題、トラウマに悩まされているのです」
トリットで活動する NGO 職員*

南スーダンで聞き取りをした 女の子の 26% が過去 12 カ月間に 少なくとも 1 回、自ら命を絶つ ことを考えた

苦難は多々あるが、本調査では希望とめざましいレジリエンス（回復力）も目撃した。思春期の女の子は、自らの生存、そして家族とコミュニティを支えていく能力の鍵となる要素をいくつかあげてくれた。そのなかでもとくに重要なものをあげる。

両親

女の子たちは、母親または父親の存在の重要性を強調している。団結した家族は、暴力や貧困、飢えから身を守るという点でも、精神的な安定という点でも必要不可欠である。

*「最近でも、虐待されたり不当な扱いを受けたりしていた子どもたちを知っています。重労働をさせられたり、不潔な環境に置かれたり、教育を受けさせてもらえなかったり……。多くの子どもたちが孤児で、誰も面倒をみてくれないのです」
ニュマンジに暮らす 16 歳の女の子*

教育

思春期の女の子たちは、教育が自分たちの人生においてとくに重要だと繰り返し述べている。教育は彼女たちの未来を守り、自立を後押しし、仕事の機会を増やし、彼女たちを保護し、家庭外でもネットワークを構築できるようにし、強制的な結婚を防いでくれる。

南スーダンでは 15 歳以上の女性の 16% しか読み書きができない (注 3)

結論

南スーダンで現在も続く危機に深刻な影響を受けている思春期の女の子の数がこれほど多いにもかかわらず、彼女たちが自らの経験やニーズについて意見を聞かれることはほとんどない。彼女たちのコミュニティや人道支援者が彼女たちに注意を払うことはほとんどない。今回の調査は、それを正そうという試みである。女の子と若い女性には権利があるということ、そして彼女たちの考えには耳を傾けて行動に生かすだけの価値があるということを認識するものである。

女の子たちが物理的にも感情的にも、また将来を守るという意味合いでも支援を求めていることを私たちは知っている。彼女たちは教育の重要性を強調し、自分たちの暮らしだけでなく、コミュニティや国全体の再建に貢献できるようになりたいと決意している。

ここに記す提案は、彼女たちの優先順位に基づいている。

南スーダンからの声： 女の子たちの提案

- 家庭内でもコミュニティでも、女の子の声に耳を傾ける。プログラム策定やコミュニティの意思決定の際、思春期の女の子が参加できるフォーラムやプロセスを提供する。
- 女の子が滞りなく教育を受けられるようにする。これは女の子の参加を妨げるすべての障害を取り除くということである。
— 教育の質や家事負担などの制度的な障害
— 適切な衛生設備の欠如や学費、学用品代の経済的負担といった日常的な障害
- 女の子にやさしい情報やサービスへの資金提供が優先されるべきである。とりわけ心の問題、そして性と生殖に関する健康と権利が優先されなければならない。
- 女の子に安全な空間を提供し、家庭とコミュニティ両方で女の子への態度や行動を変えることでジェンダーに基づくあらゆる形の暴力に取り組む。

3. Watkins, Kevin. 2016. "State of the World's Children: A fair chance for every child." UNICEF.



-  facebook.com/planinternational
-  twitter.com/planglobal
-  instagram.com/planinternational
-  linkedin.com/company/plan-international
-  youtube.com/user/planinternationaltv